

2016 年 11 月 15 日

## SUPER GT 2016 シリーズ、 ADVAN レーシングタイヤ装着車が GT500 クラスで通算 3 勝をマーク。GT300 クラスはシリーズチャンピオン獲得

横浜ゴム（株）の ADVAN レーシングタイヤ装着車が 11 月 12 日にツインリンクもてぎ（栃木県）で開催された SUPER GT 第 3 戦\*の GT500 クラスで優勝した。これにより、ヨコハマタイヤ勢は SUPER GT 2016 シリーズにおいて GT500 クラスで通算 3 勝を挙げ、横浜ゴムは最多勝利タイヤメーカーとなった。また、GT300 クラスでは第 3 戦の翌 13 日に同サーキットで開催された最終戦において、ADVAN レーシングタイヤ装着車が優勝し、チームのシリーズチャンピオンが決定した。

※第 3 戦は 5 月開催予定だったが熊本地震の影響で代替えレースとして 11 月 12 日に予選及び決勝が開催され、13 日には最終戦の予選及び決勝が行われるという変則スケジュールとなった。

第 3 戦の GT500 クラスで優勝したのは KONDO RACING の「フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R（ドライバー：佐々木大樹選手／柳田真孝選手）」。2 番手スタートとなった佐々木大樹選手は終始安定した走り続け 34 周目にトップでピットイン。タイヤ無交換作戦を敢行しトップのままコースに出た柳田真孝選手は、テール・トゥ・ノーズの激しいバトルとなったラスト 2 周を守り切りチェッカーフラッグを受けた。同チームは第 4 戦もタイヤ無交換で勝利し、今シリーズ 2 勝を挙げた。また、第 7 戦で「WedsSport ADVAN RC F」が優勝しており、今シリーズはヨコハマタイヤ勢が GT500 クラスで通算 3 勝をマークした。

GT300 クラスでシリーズチャンピオンを獲得したのは VivaC team TSUCHIYA（監督：土屋春雄氏）の「VivaC 86 MC（ドライバー：土屋武士選手/松井孝允選手）」。ランキングトップで迎えた最終戦で、スタートドライバーの土屋武士選手は無理のない走りで 17 周目に松井孝允選手にバトンを渡す。タイヤ無交換の「VivaC 86 MC」は全車のピットインが終わった段階で 2 位に浮上、さらに 34 周目にトップに躍り出る。その後はレースを支配し、今シリーズ 2 勝目を挙げるとともに、シリーズチャンピオン獲得を果たした。



第 3 戦の GT500 クラスで優勝した  
「フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R」



GT300 クラスでシリーズチャンピオンを獲得した  
「VivaC 86 MC」

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：赤池  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570